

組みの概要、具体的なBIM/CIM活用方法、課題、定量的な生産性向上効果、BIM/CIM情報（工事・業務名、発注者、受注者、3次元モデル作成者、工事・業務概

の活用によって生産性が向上した事例を整備局などから引き続き収集し、事例集を拡充する方針だ。

主な事例を見ると、東北地方整備局青森河川国道事務所の「津軽道森田地区道路詳細設計業務」は、受注者が作成した3次元モデルに基づき、各種寸法を計算して手作業で実施していたダイヤモンドIC詳細設計の平面図と横断図の作成を自動化した結果、図面作成に要する日数を半減した。

BIM/CIMの生産性向上

定量的効果を初明示

省が集
交事例
国事

国土交通省は、2023年度から直轄工事・業務で原則適用しているBIM/CIMについて、活用によって生産性が向上した事例をまとめた。横断図・平面図作成日数や書類作成・検査時間の短縮など、事例ごとに生産性向上

の効果を明示している。BIM/CIMの活用による生産性向上効果を事例別で定量的に示すのは初めて。

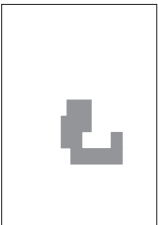
国土技術政策総合研究所が管理・運営するBIM/CIMポータルサイトに、生産性向上の効果があつた直轄工事・業務28件の事例集を掲載した。地方整備局などが20年度以降に発注したもので、取り

要、使用したソフトウェア、モデル詳細度、属性情報）を公開している。

事例のキーワード検索や、▽発注年度▽発注機関▽分野・工種▽活用段階▽発注者の生産性向上——の5項目から絞り込むことが可能。絞り込んだ事例をPDF方式で保存することもできる。

国交省は、BIM/CIM

関東整備局荒川調節池工事事務所の「R4荒川第二調節池下大久保下流工区囲繞堤工事」では、下請けが作成した3次元データを活用し、地盤改良工の監督・検査効率化に取り組んだところ、書類作成と検査の時間を3分の1に短縮した。この取り組みは、受注者だけでなく、発注者にも生産性向上効果があるとしている。



事例集を公開した。BIM/CIM活用の参考になるような28事例を掲載。キーワードや条件設定で探したい情報を検索可能とした。2024年度以降の活用事例を順次拡充していく予定だ。

国土省

国土交通省は、国土技術政策総合研究所（国総研）を通じて運営する「BIM/CIMポータルサイト」（<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>）でBIM/CIMによる生産性向上の

BIM/CIMポータルサイトに事例集

生産性向上した28件紹介

今回公表の事例集はBIM/CIMによる生産性向上効果を明確に示す形で、優良な活用事例を各地方整備局から収集したことがポイントだ。

23年度からの直轄土木業務・工事のBIM/CIM原則適用に当たって作成・公表した従来のBIM/CIM事例集では、生産性向上効果を定量的に示していなかった。

探したい情報を容易に検索できるよう工夫した。各事例のタイトルから具体的な効果が一目で分かるようにした。▽発注年度▽発注機関▽分野・工種▽活用

段階▽発注者の生産性向上の有無の各条件からニーズに沿った事例を検索できる。

掲載した28事例は道路土工、橋梁、トンネル、河川堤防、ダムなどの分野・工種をカバーし、活用段階も調査・計画から設計、施工まで幅広く含まれる。いずれも23年度までの発注案件から抽出した。

